

島根の多彩な医師の働き方  
キャリアを支援します！

# えんネット

SUPPORT MAGAZINE 2025 NO. 12

発行：島根大学医学部地域医療支援学講座  
島根県・しまね地域医療支援センターから財政支援を受けています。



Special Discussion

“ 手厚いサポートで子育てしながら働きやすい！ ”

公立邑智病院

## イベントなど“えんネット”の取り組み紹介

### ●ドクターキャリア形成特別講義

医学生のうちから、ワークライフバランス・キャリア形成について考えることを目的に平成26年度から臨床実習入門として男女共同参画講義を行っています。

広島大学医学部附属医学教育センター教授 蓮沼 直子先生をお招きし、医学科4年生を対象に行っています。地域医療支援学講座は、学生たちがキャリアを大切に働き続けるために、「えんネット」の取り組みや支援内容についても周知します。

### ●ワークライフバランスセミナー

令和7年度は笑医塾 塾長・小児外科医 高柳和江先生にお話しいただきます。

### ●えんネット交流会

年2回、医師や学生が集まり、働き方などについて楽しく話し合っています。

### ●復職支援

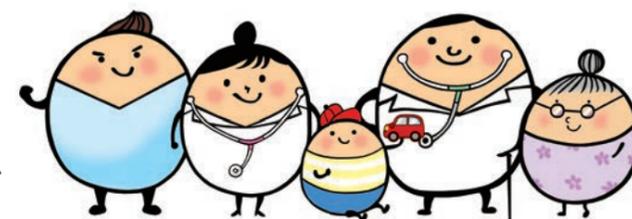
ライフイベント、退職後の相談も受け付けています。



えんネット交流会

## えんネット

えんネットではキャリア支援から託児付きセミナーの開催、学生教育までさまざまな支援を積極的に行っています。



### キャリア支援 両立支援



- 相談窓口
- 就労環境改善の取り組み
- 託児付きセミナー
- 交流会 など

### 育児・介護支援 情報提供



- 県内病院就労支援
- 県内自治体保育支援
- 支援情報へのリンク

### 学生教育



- キャリアモデル実習
- キャリア教育
- キャリアセミナー

<https://www.en-net.jp/>

えんネット

検索

### 連携団体

- しまね地域医療支援センター
- 島根県 赤ひげバンク
- 島根県医師会
- 島根大学 ダイバーシティ推進室
- 島根大学医学部附属病院 ワークライフバランス支援室

えんネット 島根大学医学部地域医療支援学講座内

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町89-1  
TEL & FAX : 0853-20-2396 E-mail : en-net@med.shimane-u.ac.jp



発行 / えんネット  
2025年11月



”手厚いサポートで子育てしながら働きやすい！”

今回取材したのは島根県の中央に位置する公立邑智病院。

2024年に新棟が完成し、医師の負担を軽減するための医療DX化が進んでいます。病院として地域の方たちに子どもを預ける託児サービス「めだかクラブ」を立ち上げるなど、子育て中の医師へのサポート体制が充実しているのです。働きやすさも抜群です。そんな邑智病院の特徴や研修の魅力についてインタビューしました！

**堀田**：今日、お集まりいただいたのは邑智病院で診療をする4人の先生方です。そして臨床実習中の島根大学医学部5年生の藤井さんが参加してくれています。最初に先生方が邑智病院で働き始めたきっかけを教えてください。

**酒井**：私はいずれ地元で働きたいと思っていました。大学卒業後、中山間地や島での診療を経験してから戻ってきました。この総合診療科で働いて8年になります。家族とともに3人の子育て中です。今日は下の子どもも一緒に。

**上田**：私は麻酔科医として3年前から勤務しています。出産をきっかけに子どもを育てるのに良い環境を考えた結果、地元である邑南町に帰ってきました。3歳の娘を育てながら仕事をしています。

**阿部**：僕は東京科学大学病院の初期研修医2年目で、地域研修でここに来ました。まだ始まったばかりですが、これから2か月間でたくさん学びたいと思っています。

**堀田**：なぜ研修先に邑智病院を選ばれたのですか？

**阿部**：一つの病院で地域医療が完結

しているところがいいなと思っていたので、それが決め手になりました。あとは島根に行ったことがなかったため、一度行ってみたかったのもあります。

**松原**：私は島根県立中央病院の初期研修医2年目です。阿部先生と同じく地域研修でここに来ました。実家が太田市でここからも近く、以前から働きたかった病院でした。実際に働いてみると、穏やかに優しい先生たちばかりで楽しく研修ができています！

●

医師事務作業補助者が業務をサポート  
医師が診療に集中できる

**堀田**：邑智病院の特徴を教えてください。

**酒井**：この医療圏で唯一の救急指定を受けている病院で、基本的に救急は断りません。救急診療は総合診療科医が多くを担っていて、他科の先生とも協力しつつ対応します。土日や夜間は島根大学や、広島大学の救命救急科の先生方が来てくださるので、いつでもしっかりした診療体制が取れているのが強みです。

**堀田**：土日、夜間のサポート体制が充実しているんですね。

座談会の  
ファシリテーター



島根大学医学部  
地域医療支援学講座 特任助教

**家本 美佳**

いえもと みか

島根大学医学部附属病院の臨床看護師として40年間勤務。2024年4月から地域医療支援学講座特任助教に就任。



島根大学医学部  
地域医療支援学講座 教授

**佐野 千晶**

さの ちあき

1994年島根医科大学卒業、微生物学などを経て現職。2児の母。「えんネット」相談窓口を担当。



島根大学医学部  
地域医療支援学講座 助教

**堀田 優希江**

ほった ゆきえ

2009年島根大学医学部卒業、島根大学の耳鼻咽喉科での勤務を経て2020年から現職。3児の母。「えんネット」相談窓口を担当。ワークライフバランスに関する調査研究、復職支援、女性医師支援などを行う。

えんネット  
MAGAZINE 2025



**酒井**：救急を断らない病院ということ、スタッフが疲弊しているところも少なくないと思いますが、ここでは勤務している医師たちがあまり無理せず診療ができています。特に常勤医の当直の負担はかなり軽減されています。

**堀田**：他に工夫されていることはありますか？

**酒井**：病棟は主治医制ですが、土日夜間は救急担当の医師が病棟の管理を行うので、休みの日に電話がかかってくることはほとんどなくなりまして。昨年から始めた取り組みですが、それだけで土日の自由度がぐんと増

えました。

**堀田**：オンオフの切り替えにはいいですね。

**酒井**：それと、医師や看護師の業務をサポートしてくれる医師事務作業補助者の仕組みが、かなり早い段階から導入されています。各診療科に医師事務作業補助者さんが1人いて、外来診療についてくれます。文書の作成や手続きなどを手伝ってもらえるので、とても助かっています。

**堀田**：病院全体で医療DXに取り組んでいるとお聞きしました。

**酒井**：そうです。紹介状のデータや電子カルテに取り込めるシステムや、患者さんが事前に入力するAI問診を導入しています。業務負担が減るだけでなく、AI問診は情報量が多いので診療にも役立っています。

### 子育てしながら働きやすい病院全体で支え合う風土

**堀田**：上田先生は子育てと仕事の両立はうまくできていますか？

**上田**：「めだかクラブ」という地域の方たちに子どもを見てもらえる仕組みがあって、それを活用しています。自治体がやっているファミリーサポート制度と同じようなものですが、それを病院が事業として取り入れているのは珍しいと思います。

**堀田**：具体的にどのようなように使われているのですか？

**上田**：私は麻酔科なので、手術が長引くと子どもの保育園のお迎えに間に合わないことも。そんな時に地域の皆さんに代わりにお願いして行ってもらうこともあります。当日に「今日お願いします！」と頼むこともあったり、お迎えだけではなく、食事やお風呂まで入れてくださることもあるので本当に助かっています。

**堀田**：そこまで頼めるなんて！病院のサポート体制が手厚いですね。

**上田**：めだかクラブでいつも子どもをみてくださっている方はなんと、私が保育園児だった時にお世話になった園長先生なんです。ずっと前から知っている方なので、安心してお願いしています。本当の親戚のように、地域ぐるみで子どもと一緒に育ててもらっていると感じます。

**堀田**：具体的な出産のタイミングを決めていたわけではないですが、仕事と育児の割合をどのようにしたいか考えた時に、私の場合は子どもとの時間を大事にしたい気持ちが強かったため、結果的に専門医取得後の方が働き方や勤務する病院の選択肢が増えてよかったですかと思えます。

**堀田**：自分の生き方に合わせて病院を選ぶことも大事ですね。

**上田**：そう思います。ここまでサポートしてもらえる病院はなかなかないですから。手術中に保育園から「熱が出ました」と電話が来たり、夜の緊急手術で呼ばれたりしたときには、病院スタッフがフォローしてくださる仕組みもつくっていただきました。

**堀田**：皆さんで支え合っているんですね。

**上田**：私は1人で3歳の子供を育てていますが、病院のスタッフや地域の方たちにサポートしていただけて、とても恵まれた環境だと思います。

**酒井**：他にもワンオペで子育てをされている先生は何かいて、時短勤務にしたり、当直を免除にしたりと働き方を変えている人もいます。それから当直室で子どもと一緒に過ごす

せるようにするなど、工夫していることもあります。

**藤井**：先生方のお話を聞いて、自分の将来のイメージが湧いてきました。勤務先を決める時には、診療面だけでなく、子育てができる環境なのかといった視点でも考えていきたいです。

### 外来から入院管理まで学べるシームレスな研修

**堀田**：研修医への指導はどのようにされていますか？

**酒井**：外来から入院、退院までをシームレスで診る体制を整えています。大規模な研修病院では、外来と入院が分かれていることもありませんが、当院では1人の患者さんを退院までしっかりと見届けることができますようにしています。

**堀田**：それは研修医の先生にとつて貴重な経験になりそうですね。

**堀田**：例えばどんな疾患ですか？

**酒井**：頭痛でいえば「頭部CTをして、脳出血など緊急疾患なし。対症療法で帰宅」は大病院の救急外来ではよくある光景です。でも、一般外来では緊急性のない疾患も診断治療が求められます。たとえば片頭痛、帯状疱疹、環状椎偽痛風、腫瘍、実は別の全身疾患とか。診断治療と外来フォローアップも研修医にしてもらいます。

**酒井**：研修を通して、できるだけ主治医のような動きをしてもらいたい。退院してから患者さんがどんな生活を送るのか、どんなサービスが必要なのか。想像しながら診療してほしいですし、それができればどこに行っても医師として活躍できると思います。

**堀田**：他にも力を入れていることは

**阿部**：僕はここでの研修を受けてみて、とにかく患者さんの数が多いことが印象的でした。この地域では他に大きな医療機関がないので、邑智病院がしっかり患者さんたちを支えている。自分もその責任を持って診療をしていきたいと思っています。

**松原**：私がおもしろいと思うのが、毎朝のカンファレンスで

**阿部**：僕はこの研修を受けてみて、とにかく患者さんの数が多いことが印象的でした。この地域では他に大きな医療機関がないので、邑智病院がしっかり患者さんたちを支えている。自分もその責任を持って診療をしていきたいと思っています。

**松原**：私がおもしろいと思うのが、毎朝のカンファレンスで

### 市街地へのアクセスがよく暮らしやすい邑南町

**堀田**：福利厚生も充実しているそうですね。医師宿舎があるとか。

**酒井**：私のところは3LDKの戸建てで広くて住みやすいです。家族構成によって住宅環境を配慮してもらえるのが嬉しいですね。

**松原**：以前は研修医も医師宿舎に住んでいたようなのですが、あまりに広くて(笑)。今は1人暮らし用のオール電化のアパートに住んでいます。

**堀田**：お休みの日はどのように過ごしていますか？

**酒井**：広島方面に行くことが多いです。

**松原**：以前は研修医も医師宿舎に住んでいたようなのですが、あまりに広くて(笑)。今は1人暮らし用のオール電化のアパートに住んでいます。

**堀田**：お休みの日はどのように過ごしていますか？

**酒井**：広島方面に行くことが多いです。

病院実習でたくさんのことを学びたいです

島根大学 医学部5年生  
**藤井 佑衣 さん**  
ふじい ゆい  
島根大学(実習中)



島根は初めて。地域医療を学びに来ました

東京科学大学病院 初期臨床研修医2年目  
**阿部 宏哉 先生**  
あべ こうや  
東京科学大学(2023年卒)



多職種の皆さんにはいつも助けてもらっています

島根県立中央病院 初期臨床研修医2年目  
**松原 瑠南 先生**  
まつばら るな  
島根大学(2023年卒)



地域の方たちと一緒に子育てをしています

麻酔科  
**上田 愛瑠萌 先生**  
うえだ めるも  
島根大学(2014年卒)



やりたいことを応援してもらえる病院です

総合診療科  
**酒井 和久 先生**  
さかい かずひさ  
自治医科大学(2008年卒)





すね。高速道路の浜田道がすぐ近くにあり、広島市街でも車で1時間半から着きます。市街地へのアクセスはすごくいいです。

**上田**：私も休日に出かけることが多いです。子どもと一緒に水族館の「アークアス」にはよく行きます。年間パスポートを買っているので月1回は行っていきますね。あとは、「香木の森公園」もお勧めです。

**佐野**：邑南町の観光エリアですよ。

**上田**：自然のなかで思いっきり遊べますし、遊具もたくさんあって。近くのお店のソフトクリームやシュークリームは絶品です。

**松原**：私はまだ観光には出かけられ

# 邑智郡



邑智病院は、島根県邑智郡を構成する3町（川本町、美郷町、邑南町）が共同で運営する病院です。

邑智郡は美しい緑の山々と雄大な江の川を有し、カヌーやキャンプ、新鮮な農畜産物を使った食事、石見神楽の体験などのバラエティ溢れる特別な時間を「おおちじかん（邑智時間）」として提供しています。

地元住民はもちろん、都会で暮らす人々の普段着のリゾートとなるような、そんな地域づくりを目指しています。



於保知盆地展望台  
気象条件が合うと雲海が現れ、まるで雲の中にいるような絶景を眺められる



江の川  
SUPやカヤックなど自然を満喫する体験が満載



鮭  
美味しい空気と綺麗な水、大自然の恵みから生まれた自慢の特産物

邑智郡観光 web サイト おおちじかん <https://www.ochijikan.com/>

## 島根大学医学部 地域医療支援学講座

# えんネット

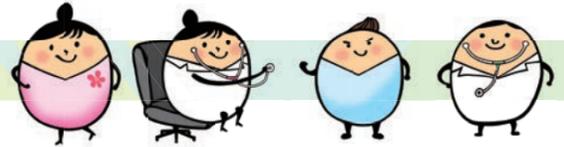


しまね地域医療支援センターの委託を受け、平成26年度より、島根大学医学部地域医療支援学講座内に両立支援のための相談窓口『えんネット』が設立されました。出産・育児・介護などのライフイベントで働き方に悩みを抱えている方々がキャリアを継続できるよう支援いたします。また、「働き続けたい」という意識を育てるために、学生時代からのキャリア教育や、すべての医師の働きやすい職場をめざした、就労環境支援、託児などに考慮した両立支援を行っています。

### 相談窓口

えんネットでは、現在の働き方に悩みを抱える方のための相談窓口を設置しています。個々に応じた復職への相談も受け付けています。専門科に応じた対応が必要な場合は、支援担当員としてご協力いただく、専門科の先生に相談することも可能です。また、復職相談については学内外と連携をとりながら、段階的な支援を行っています。加えて、女子学生の女性特有の相談に対しても、女性スタッフが対応しています。

どんなことでもお気軽に相談してください。



### セミナーなどに託児をつけます

子育て中の医師も学びやすいよう、セミナーなどに託児をつける支援を行っています。また、島根大学医学部附属病院 クリニカルスキルアップセンターにて、シミュレーショントレーニングの託児付受講もできます。



### 医師密着型実習

医師密着型実習とは、島根でがんばる医師のもとで実習を行い、自分の将来像を探すことを目的にした実習です。実習では、医師の一日の始まりから終わりまで密着し、仕事以外の保育園の送迎や家事などの生活場面についても見学させていただきます。参加した学生さんからは「先生の結婚・出産の頃のお話も伺い、やりたいことをあきらめずに継続されている強さに自分も勇気ができました」といった意見がありました。

## 公立邑智病院

### HOSPITAL DATA



公立邑智病院  
〒696-0193  
島根県邑智郡邑南町中野3848-2  
TEL 0855-95-2111  
FAX 0855-95-2313  
<https://www.ohchihospital.jp>

**島** 根県邑智郡にある公立邑智病院。邑智郡内で唯一の急性期病院として救急医療を担っています。10の診療科と98床の病床を有し、一般外来診療はもちろん、近隣の診療所、開業医などからの入院依頼に応じながら、地域住民の健康を守る拠点として機能しています。

### 医療DXへの取り組み

当院では電子カルテを基盤とした強固なセキュリティ環境を整え、積極的に医療DX化を進めています。スタッフの業務を減らすための取り組みとしてはAI問診を導入したほか、さらにAIを活用して入院患者さんのサマリーや紹介状を作成するシステムの準備を進めているところです。院内では自律搬送ロボットが動き、診療器具など60kgまで物を運んでいます。どこかかわいげがあるロボットの動きぶりは、スタッフだけでなく患者さんにも人気です。

副院長 日高 武英

